

雨に濡れた紫陽花の色がひときわ美しい時期となりました。

皆さまがいかがお過ごしでしょうか。

日頃より東町わたや薬局をご利用いただきましてありがとうございます。深く感謝いたします。

東町わたや薬局は医療用のお薬を安心してご使用頂く事に努めるとともに、皆さまができるだけ病気になるように、健康づくりの情報なども提供させていただきます。

また、皆さまをできるだけお待たせしないよう、スタッフ一同努力しておりますが、何か気づいたことがあればどうか一声お知らせください。

梅雨冷えの肌寒い日もありますが、体調をくずされませんようお元気で過ごしてください。



ジェネリック医薬品への変更を推進しています！

ジェネリック医薬品って？

医療用医薬品には新薬（先発医薬品）とジェネリック医薬品（後発医薬品）があります。新薬として最初に発売された薬は、特許に守られています。20～25年の特許期間が切れると他のメーカーも**同じ成分、同じ効果の薬**を製造出来るようになります。これがジェネリック医薬品です。



お薬代の自己負担額が減るのが最大のメリット！

先発医薬品はその成分から開発し、有効性・安全性を確認後に承認されて発売されるため研究に20～30年かかるといわれ、莫大な費用がかかります。しかしジェネリック医薬品は先発医薬品に比べ、開発期間も短くて済み**大幅に開発コストが削減**できるため、**先発医薬品よりも安価**になります。

ジェネリック医薬品は医療費削減に役立ちます！

現在のわが国の医療費は年間で約40兆円です。医療費の中でも薬剤費はおよそ8兆円といわれています。ジェネリック医薬品はその**医療費の削減に寄与**すると言われており、特許が切れた先発医薬品をジェネリック医薬品で代用すれば、**約1兆円の費用削減効果**があると試算されています。

国の医療費削減のためにもジェネリック医薬品を検討してみたいはいかがでしょうか？

ジェネリック医薬品について気になることがあれば薬剤師にお尋ねください。

今回の
おすすめ商品

経口補水液「OS-1」

日に日に暑さが増していますが熱中症対策はできていますか？

普段の水分補給であればスポーツドリンクで十分ですが、すでに脱水状態のとき、もしくは脱水状態を起こしそうな場合はOS-1がおすすめです。

また、熱中症の時だけでなく、風邪による下痢・嘔吐・発熱を伴う脱水状態や、高齢者の飲食物の摂取不足による脱水状態にも適しています。軽度から中等度の脱水状態の方の水・電解質を補給・維持するのに適していますので、脱水状態かな？と感じた時にすぐに補給できるように常備しておくのもいいでしょう。

医師から塩分制限・水分制限を指示されている方はあらかじめ医師、薬剤師にご相談ください。

OS-1はWHOの提唱する経口補水療法の考え方に基づき、組成は米国小児科学会の指針に基づいて、水分と塩分・糖質の配合バランスを考慮した補水液です。

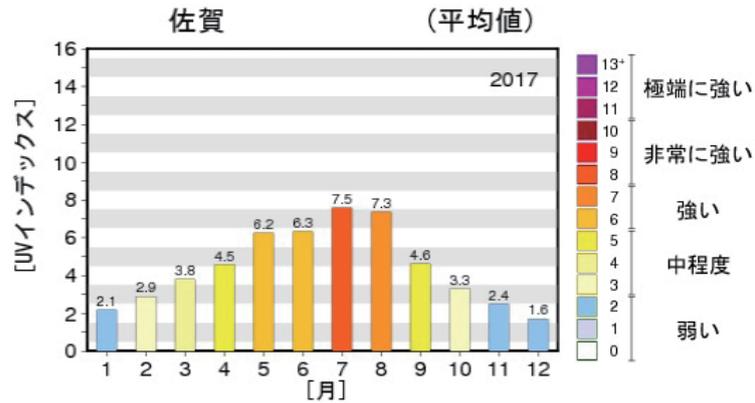
OS-1
オーエスワンシリーズ
経口補水液



紫外線対策を始めましょう！

右のグラフのとおり、紫外線は5～6月から急激に強くなります。

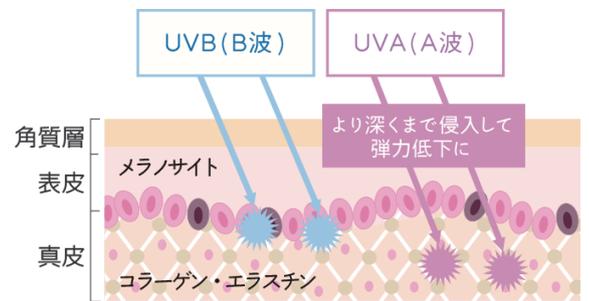
また、曇りや雨の日でも紫外線量がゼロになるわけではありません。
紫外線について知り、早い時期から紫外線対策を行いましょう！



昨年2017年の佐賀県のUVインデックスです。
UVインデックスは、紫外線の波長や太陽高度、標高などの要素を考慮して推定されています。

紫外線の影響は皮膚だけでなく目にも！？

地表に降り注ぐ紫外線は、波長の長さによってUVAとUVBに分けられます。UVAは肌の奥深くまで達し、肌の弾力や張りを保つコラーゲンなどをつくる細胞に作用して、その機能を低下させ、しわ、たるみをつくります。一方、UVBは表面の角層の下にある色素をつくる細胞に作用し、シミの原因になったり、細胞をがん化させることもあります。紫外線の影響は皮膚だけにとどまりません。長時間紫外線を繰り返し浴び続けると、紫外線角膜炎や、白目の表面を覆う結膜が翼状に黒目に侵入する翼状片、目の水晶体が濁る白内障などが起こりやすくなります。



(イメージ図)

ロート製薬HP「知っておきたい紫外線のあれこれ」より

雨の日でも紫外線はゼロではない！？

紫外線のトラブルを防ぐには、晴れの日はもちろん、曇りや雨の日も紫外線を浴び過ぎないように心がけることが大切です。晴れの日を100%とすると、曇りの日は約60～80%、雨の日でも30%ほどの紫外線が地表に届いています。また、直射日光のほか、空気中で飛び散る散乱光もあるので、日陰でも日なたの約50%の紫外線が届きます。紫外線はあらゆる角度から肌に届いていると認識し、しっかり防ぐことが大切です。

紫外線対策！

- ①日焼け止めを使用するようにしましょう。
- ②外出時には肌を保護するような服装(長袖、生地が厚めのモノ、色の濃いモノ)などで肌の露出を控えましょう。
- ③日傘やサングラス、帽子を使用しましょう。

日焼け止めにはさまざまな種類のものがあります。選ぶのに迷ったり、使い方などに不安があるときは薬剤師にご気軽にご相談ください。

東町わたや薬局

電話番号 0942-81-3039 時間外連絡先 080-8362-4585

住所 佐賀県鳥栖市東町1丁目1020

営業時間 月～金曜 9:00～18:00 土曜 9:00～13:00

定休日 日曜日、祝日



雨に濡れた紫陽花の色がひととき美しい時期となりました。

皆さまがいかがお過ごしでしょうか。

日頃よりわたや薬局をご利用いただきましてありがとうございます。深く感謝いたします。

わたや薬局は医療用のお薬を安心してご使用頂く事に努めるとともに、皆さまができるだけ病にならないよう、健康づくりの情報なども提供させていただきます。

また、皆さまをできるだけお待たせしないよう、スタッフ一同努力しておりますが、何か気づいたことがあればどうか一声お知らせください。

梅雨冷えの肌寒い日もありますが、体調をくずされませんようお元気で過ごしてください。



ジェネリック医薬品への変更を推進しています！

ジェネリック医薬品って？

医療用医薬品には新薬（先発医薬品）とジェネリック医薬品（後発医薬品）があります。新薬として最初に発売された薬は、特許に守られています。20～25年の特許期間が切れると他のメーカーも**同じ成分、同じ効果の薬**を製造出来るようになります。これがジェネリック医薬品です。



お薬代の自己負担額が減るのが最大のメリット！

先発医薬品はその成分から開発し、有効性・安全性を確認後に承認されて発売されるため研究に20～30年かかると言われ、莫大な費用がかかります。しかしジェネリック医薬品は先発医薬品に比べ、開発期間も短くて済み**大幅に開発コストが削減**できるため、**先発医薬品よりも安価**になります。

ジェネリック医薬品は医療費削減に役立ちます！

現在のわが国の医療費は年間で約40兆円です。医療費の中でも薬剤費はおおよそ8兆円といわれています。ジェネリック医薬品はその**医療費の削減に寄与**すると言われており、特許が切れた先発医薬品をジェネリック医薬品で代用すれば、**約1兆円の費用削減効果**があると試算されています。

国の医療費削減のためにもジェネリック医薬品を検討してみたいかご存知でしょうか？

ジェネリック医薬品について気になることがあれば薬剤師にお尋ねください。

今回の
おすすめ商品

経口補水液「OS-1」

日に日に暑さが増していますが熱中症対策はできていますか？

普段の水分補給であればスポーツドリンクで十分ですが、すでに脱水状態のとき、もしくは脱水状態を起こしそうな場合はOS-1がおすすめです。

また、熱中症の時だけでなく、風邪による下痢・嘔吐・発熱を伴う脱水状態や、高齢者の飲食物の摂取不足による脱水状態にも適しています。軽度から中等度の脱水状態の方の水・電解質を補給・維持するのに適していますので、脱水状態かな？と感じた時にすぐに補給できるように常備しておくのもいいでしょう。

医師から塩分制限・水分制限を指示されている方はあらかじめ医師、薬剤師にご相談ください。

OS-1はWHOの提唱する経口補水療法の考え方に基づき、組成は米国小児科学会の指針に基づいて、水分と塩分・糖質の配合バランスを考慮した補水液です。

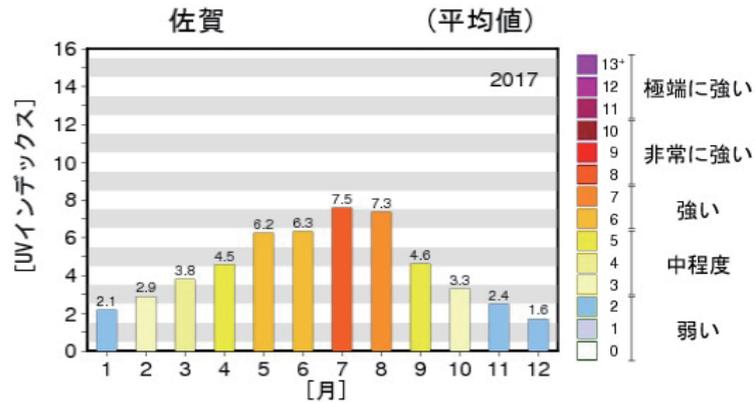
OS-1
オーエスワンシリーズ
経口補水液



紫外線対策を始めましょう！

右のグラフのとおり、紫外線は5～6月から急激に強くなります。

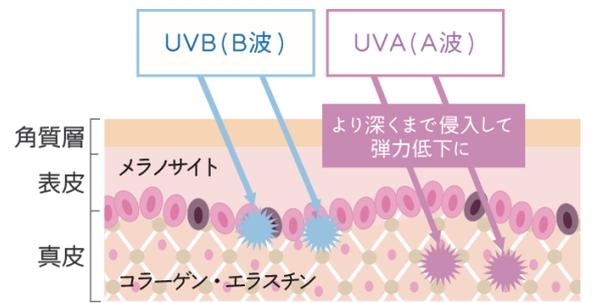
また、曇りや雨の日でも紫外線量がゼロになるわけではありません。
紫外線について知り、早い時期から紫外線対策を行いましょう！



昨年2017年の佐賀県のUVインデックスです。
UVインデックスは、紫外線の波長や太陽高度、標高などの要素を考慮して推定されています。

紫外線の影響は皮膚だけでなく目にも！？

地表に降り注ぐ紫外線は、波長の長さによってUVAとUVBに分けられます。UVAは肌の奥深くまで達し、肌の弾力や張りを保つコラーゲンなどをつくる細胞に作用して、その機能を低下させ、しわ、たるみをつくります。一方、UVBは表面の角層の下にある色素をつくる細胞に作用し、シミの原因になったり、細胞をがん化させることもあります。紫外線の影響は皮膚だけにとどまりません。長時間紫外線を繰り返し浴び続けると、紫外線角膜炎や、白目の表面を覆う結膜が翼状に黒目に侵入する翼状片、目の水晶体が濁る白内障などが起こりやすくなります。



(イメージ図)

ロート製薬HP「知っておきたい紫外線のあれこれ」より

雨の日でも紫外線はゼロではない！？

紫外線のトラブルを防ぐには、晴れの日はもちろん、曇りや雨の日も紫外線を浴び過ぎないように心がけることが大切です。晴れの日を100%とすると、曇りの日は約60～80%、雨の日でも30%ほどの紫外線が地表に届いています。また、直射日光のほか、空気中で飛び散る散乱光もあるので、日陰でも日なたの約50%の紫外線が届きます。紫外線はあらゆる角度から肌に届いていると認識し、しっかり防ぐことが大切です。

紫外線対策！

- ①日焼け止めを使用するようにしましょう。
- ②外出時には肌を保護するような服装(長袖、生地が厚めのモノ、色の濃いモノ)などで肌の露出を控えましょう。
- ③日傘やサングラス、帽子を使用しましょう。

日焼け止めにはさまざまな種類のものがあります。選ぶのに迷ったり、使い方などに不安があるときは薬剤師にご相談ください。

わたや薬局

電話番号 0942-82-3283 時間外連絡先 080-8362-4585

住所 佐賀県鳥栖市弥生が丘2丁目20

営業時間 月、火、水、金、土曜日 9:00～19:00 木曜日 9:00～17:00

定休日 日曜日、祝日

